

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、本人・家族の意向と事業所の方針を共有するように努めているが、定期的に話し合いを重ねていく必要がある。	重度化する前の段階から本人・家族の意向と事業所の方針について定期的に話し合うことにより、重度化した場合でもその人らしい生活を継続できるように努める。	全ての利用者・家族と年1回以上面談を行う。	12か月
2	35	夜間は両ユニット共に夜勤者が1名であり、職員は災害時の対応に不安を抱えている。	火災想定避難訓練を継続すると共に、地震・水害を想定した訓練を実施することで、災害時に的確な対応ができるようにする。災害時に備え、地域との協力体制を築く。	毎月1週間実施している避難訓練の中に地震・水害想定訓練を取り入れる。地域の方に年2回の総合消防訓練への参加を働きかけ、現状を把握・理解していただく。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。